

型技術協会 第139回「技術交流会」

「鍋屋バイテック会社 美濃工園 止まらない工場」を見る

～IoT 技術を駆使した多品種少ロットでの自動鑄造システムと安全快適工場～

鍋屋バイテック会社の“ものづくり”は、織田信長が桶狭間の戦いで勝利した1560年まで遡り、先達は鍋・釜・燈籠・鐘などの鑄物を作り、朝廷からは「御鑄物師」の免状を授かっています。社名の「鍋屋」はいわば公認の匠のグループとしての屋号です。

鍋屋バイテック会社 美濃工園は、鑄物の設計から模型製作、鑄造、機械加工完成品までの一貫生産が可能な工場であり、その大きな特徴は「相込め」を駆使した多品種少ロット生産です。3500型以上ある模型を、IoTを駆使して多様な組み合わせに対応し、15分に1回程段取り替えをしています。

この交流会では、安定供給、高品質・納期遵守を実現するために、可動率を上げ“止まらない工場”を目指した鍋屋バイテック会社取り扱い販売しているクラウド型遠隔監視システム“ezeio”を利用した予防保全と、可動状況の見える化を実施している鑄造工場をご見学いただきます。

本交流会を通じて、会員の皆様と活発かつ有意義な意見交換の場となることを期待しております。

===== 開催要領 =====

◆開催日時：2023年7月27日（木）

◆見学先：鍋屋バイテック会社 美濃工園
〒501-3772 岐阜県美濃市楓台60-1
<https://www.nbk1560.com/>

◆主催：(社)型技術協会

◆交通：JR岐阜駅よりバスにてご案内

◆集合：JR岐阜駅北口 団体バス乗り場前 12時00分（バス出発：12時15分）

◆内容：司会 マツダ(株) 安楽 健次 氏

13:15～14:00 鍋屋バイテック会社の紹介

鍋屋バイテック会社 鑄造部 執行役員部長 梅田 幸夫氏

14:00～14:10 休憩・見学準備

14:10～15:20 【見学】鑄造工場、機械加工棟

15:20～15:30 休憩

15:30～15:45 質疑応答

15:45～16:00 名刺交換交流会

◆17:00頃 JR岐阜駅にて解散



美濃工園全景



IoT を駆使した自動注湯機



ライン稼働率の見える化



マシニングセンタによる模型製作

◆参加費 : 1名につき **15,000 円**

※ご希望の方は協会ホームページより入会申込と交流会申込を同時に手続きください。
交流会申込時の会員番号は「0000」と入力ください。

※個人会員 A 入会時の会費は入会金 3,000 円+5 月入会時会費 12,375 円となります。
※海外から送金の場合、銀行取引手数料 4,000 円が別途必要となります。

◆募集人数: **25名** ※申込先着順

◆申込締切: **2023年7月3日(月)**

※申込締切日後のキャンセルはできません。参加費をお支払いいただきます。

◆申込方法: ホームページよりオンライン申込 (<https://www.jsdmt.jp/>)

- 1) 同業者等は都合によりお断りする場合があります。
- 2) 申込締切後の参加者変更はできません。
- 3) 参加決定者には参加証と請求書をお送り致します。参加費の納入は参加確定後に
お願い致します。
- 4) 帽子と保護メガネ(眼鏡可)の持参が必要です。
- 5) 服装は半袖/クールビズでも問題ありません。
- 6) 駐車場に限りがございますので、車来場は申込先着順とさせていただきます。
- 7) 昼食の準備はございません。昼食を済ませてから集合下さい。